



**問**

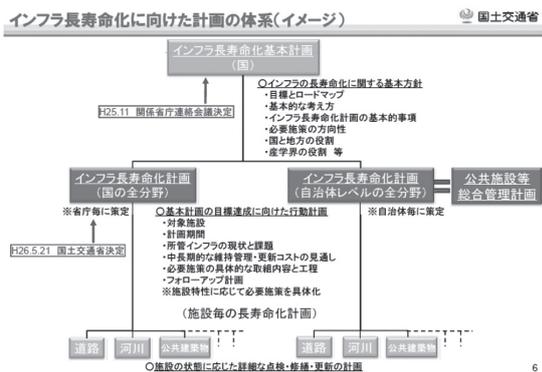
東海村インフラ整備等長期計画をどう考える基本的データを揃えた上で今後の方針を示す

新和とうかい 武部 慎一 議員

**議員** 現在、高齢者の人口増加と並行して国内におけるインフラ設備等の老朽化が進行している。震災後の近隣の状況などを考慮した上で、今後想定される東海村のインフラ整備のための長期計画構築が必要ではないか。また、インフラ以外の教育や福祉等、全ての事業に係る長期計画についての考え方を伺う。

**村長** 村ではインフラに限らず基本的データを持っていない。データを揃えた上で今出来る事、中長期に実施する事を示したい。全体を俯瞰して物事を見る人が少ないが、村全体のあらゆる分野について、どういう形で出来るか更に詰めていく。

**総務部長** 行財政改革大綱における施設ごとの長寿命化計画の策定と並行して、公共施設等総合管理計画を平成28年度までに策定する予定である。この総合管理計画は、公共施設白書を作成した上で、全ての公共施設等を対象に現状や課題を把握・分析して中長期的な検討を行い、新たな施設の管理方針も計画に反映させていく。



国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)  
(国土交通省総合政策局HPより抜粋)



**問**

児童虐待を予防する親教育を求め親教育支援事業の実施を目指し、進める

公明党 岡崎 悟 議員

**議員** 親による児童虐待の予防と解消を目指して、米国で開発された保護者向けプログラム「コモンセンスペアレンティング」は、誰でも簡単に実践できて、短期間での効果が表れる特徴があるとされている。怒鳴らない、叩かないしつけを学ぶ、親教育の講座の開催を求める。

など、対象者に見合った手法による親支援プログラムを導入している。本村でも児童虐待ケースへの個別対応が増加し、保護者への継続的支援が不足している。今年度は保健師や保育士等を研修に派遣し、来年度は、「コモンセンスペアレンティング」を含めた親支援・親教育の手法について検討を進めていく。

**福祉部長** 「怒鳴らない、叩かない子育て」の必要性が浸透し、その実践が求められているが、子どもの年齢に応じた具体的な声掛けの方法が分からず、悩む方が多いのも現状である。本村では、発達に課題がある等の子どもを持つ保護者を対象に、「ペアレントトレーニング」の講座を開催するほか、初めての子育てなどで不安を持つ母親を対象に、親支援グループ・ミーティングを開催す

